

男鹿市自転車活用推進計画

令和5年3月

男 鹿 市

目次

1. 計画策定の趣旨	
1-1 計画策定の背景	1
1-2 計画区域	1
1-3 計画の推進期間	1
1-4 計画の位置付け	2
2. 現状及び課題、計画の目標	
2-1 現状及び課題整理	3
2-2 計画の目標	7
3. 男鹿市自転車活用推進計画において実施する施策	
3-1 自転車を活用したサイクルスポーツの促進	8
3-2 豊富な観光資源を活かしたサイクルツーリズムの促進	9
3-3 自転車利用の安全対策の推進	10
3-4 安全で円滑な自転車通行空間の整備促進	11
4. 男鹿市自転車ネットワーク計画	
4-1 計画策定の目的	13
4-2 ネットワークの設定方法	13
4-3 男鹿市自転車ネットワーク図	14
4-4 サイクリングルート	15
5. 自転車走行環境の整備方針	
5-1 ネットワーク計画に選定した路線の整備の方向性	17
5-2 路面表示整備予定路線（R5～R9）	17
6. 計画の推進体制	
6-1 計画の推進体制	18
6-2 計画の見直しについて	18
7. 参考資料	
7-1 サイクリングルート図	19

1. 計画策定の趣旨

1-1 計画策定の背景

わが国では、自転車の活用による環境負荷の低減、災害時における交通機能の維持、国民の健康増進を図ることなど新たな課題に対応するため、交通の安全の確保を図りつつ、自転車の利用を増進し、交通における自動車への依存の度を低減することによって公共の利益増進に資すること等を基本理念とする「自転車活用推進法」（平成28年度法律第113号）が2017年5月に施行されている。

2018年に同法第9条に基づき、自転車の活用の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本計画として「自転車活用推進計画」が策定され、さらに2021年には社会情勢等の変化等を踏まえ、持続可能な社会の実現に向けた推進を一層図るため第2次自転車活用推進計画が策定されている。

また、2020年に同法第10条及び第11条に基づき、地域の実情に応じた自転車の活用の推進に関する施策を定めた「秋田県自転車活用推進計画」が策定され、県全域を対象とした広域的なネットワーク計画が形成されている。

こうした流れを受け、本市では、自転車を安全安心に利用できる環境の整備を図るとともに、本市の地域特性や課題を踏まえ、観光振興や健康づくり自転車の活用を総合的・計画的に推進するため「男鹿市自転車活用推進計画」（以下「本計画」という。）を策定するものである。

1-2 計画区域

本計画の対象区域は男鹿市全域とする。

1-3 計画の推進期間

本計画の推進期間は、令和5年度から令和9年度までの5年間とし、本計画の実施状況や社会情勢の変化等により、必要に応じて、随時見直しを行うものとする。

1. 計画策定の趣旨

1-4 計画の位置付け

本計画は、自転車活用推進法第11条に基づく市町村自転車活用推進計画であるとともに、国の自転車活用推進計画及び秋田県自転車活用推進計画を勘案し、本市の総合計画や各種計画と整合性を図りながら推進する。

2. 現状及び課題、計画の目標

2-1 現状及び課題整理

現 状

(1) 人口・交通・観光

本市の総人口は1955年（昭和30年）の59,955人をピークに減少を続け、現在はピーク時の半数以下になっており、今後も人口減少、少子高齢化が進む見通しとなっている。

道路・交通網については、半島地域特有の地勢により集落が点在していることから、点在する居住地区や産業活動地域、数多くの観光地と一体性を図るため、幹線道路の整備により、連続的で回遊性のある交通ネットワーク形成と高速交通へのアクセス道路の整備を推進している。

鉄道、バスなどの公共交通機関については、自家用車の普及に伴い、利用者が減少する一方で、高齢化社会の進展、免許返納者の増加により、日常の移動手段の維持確保が課題となっている。

また、本市は、男鹿国定公園として恵まれた自然景観やユネスコ無形文化遺産に登録された「男鹿のナマハゲ」などの観光資源や伝統文化が豊富であり、県内はもとより東北地域における主要な観光地になっているが、新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受け、観光客入込数の落ち込みが続いており、コロナ禍以前の数値には回復していない。

(2) 自転車の利用環境

市内の通勤・通学における交通手段は、自動車利用が圧倒的に多い。日常の買い物も都市部の大型のスーパーの利用が主流となり、地域の商店も少なくなっており、自転車を利用するような近距離の移動が少なくなっている。

また、冬期間は積雪があり自転車利用は限定的である。

こうしたことから、自転車活用の推進については、様々な分野において可能性や方策を検討する必要がある。

2. 現状及び課題、計画の目標

(3) 自転車利用に関するこれまでの取組

男鹿市、男鹿市観光協会（登録DMO）の取組

平成27年策定の「まち・ひと・しごと創生 男鹿市総合戦略」に「男鹿版DMOによる戦略的な観光振興」を、第2期総合戦略では「男鹿版DMOによる「稼ぐ」観光の推進」、「スポーツツーリズムの推進」を施策として位置づけ、平成30年度から地方創生推進交付金を活用し、「男鹿版DMOを核とした地域ブランドづくり推進事業推進事業」（平成30年～令和4年）を実施。スポーツツーリズムの推進において、自転車関連の事業を実施している。

男鹿市実施 サイクリングコースマップ作成
サイクリングイベント補助金

DMO実施 e-Bike（電動アシスト付自転車）を活用したレンタサイクル事業
e-Bike・クロスバイク等備品購入
自転車に関連した旅行商品造成



サイクリングコースマップ



レンタサイクル

2. 現状及び課題、計画の目標

市内のサイクルイベント

「GREAT EARTH 男鹿半島なまはげライド」（実行委員会・GREAT EARTH）

平成 27 年から、毎年 5 月の新緑の季節に男鹿半島を一周する「男鹿半島なまはげライド」が開催されている。エイドステーションでは男鹿ならではのメニューが並び、全国から集まる多くのサイクリストたちが男鹿の景色と男鹿の味覚を堪能している。

平成 27 年	男鹿半島なまはげライド
平成 28 年	第 2 回 男鹿半島なまはげライド
平成 29 年	第 3 回 男鹿半島なまはげライド
平成 30 年	第 4 回 あきた白神・男鹿なまはげライド
令和元年	第 5 回記念大会 あきた白神・男鹿なまはげライド
令和 2 年	第 6 回中止
令和 3 年	第 7 回中止
令和 4 年	第 8 回 あきた男鹿半島なまはげライド



2. 現状及び課題、計画の目標

「秋のなべっこライド」(JR東日本秋田支社・(一社)男鹿市観光協会・男鹿市)

男鹿の食を満喫できるエイドステーションを設け、初心者から上級者まで誰でもサイクリイベントを開催。

イベントに合わせてJR男鹿線でサイクルトレインを運行、往復JR券とイベントをパックにした旅行商品を販売。

平成30年 秋のなべっこライド2018

令和元年 秋のなべっこライド2019



「サイクルアクティビティ男鹿」(任意団体おがーりあ)

愛好者が集まり、20名前後の小規模サのイクルイベントを企画。男鹿半島内のコース、スポットを厳選し、平成24年から毎年5回～9回程度開催されている。

2. 現状及び課題、計画の目標

課題の整理

■サイクルスポーツの振興、健康増進

- ・サイクリング大会の誘致、継続開催を図り、サイクルスポーツの振興による地域の活性化や豊富な観光資源を活かしたサイクル観光の促進。
- ・タイムレースと違う、誰でも参加可能なイベント的な大会の開催。
- ・自転車活用による老若男女幅広い世代の健康増進。

■観光振興サイクルツーリズム

- ・豊富な観光資源を活かしたサイクルツーリズムの促進。
- ・サイクリストの受入環境の整備。
- ・多言語化など外国人観光客が自転車を利用しやすい環境づくり。
- ・様々な情報媒体を活用した情報発信。

■安全対策

- ・交通安全意識の向上。
- ・自動車運転者に対する交通安全意識の啓発。
- ・子供が安全に自転車利用できる環境づくり。
- ・自転車損害賠償保険への加入促進。

■自転車利用環境の整備

- ・走行環境の安全性の向上。
- ・広域的な自転車ネットワークの構築。
- ・サイクリングルートの設定。

2-2 計画の目標

目標1 自転車を活用したサイクルスポーツの促進

目標2 豊富な観光資源を活かしたサイクルツーリズムの促進

目標3 自転車利用の安全対策の推進

目標4 安全で円滑な自転車通行区間の整備促進

3. 男鹿市自転車活用推進計画において実施する施策

3-1 自転車を活用したサイクルスポーツの促進

施策1 サイクルスポーツの促進

サイクルツーリズムを推進する企業・団体等とともに、自転車を活用したイベント等を開催し、賑わいの創出や都市イメージの向上を図る。



男鹿半島なまはげライド



秋のなべっこライド

3. 男鹿市自転車活用推進計画において実施する施策

3-2 豊富な観光資源を活かしたサイクルツーリズムの促進

施策2 サイクリスト受入環境の構築

- ① 道の駅のサイクリング拠点化や、鉄道駅や観光拠点におけるサイクルポート設置など受入サービスの充実を図るため、関係者に対して協力を要請する。また、訪日外国人を考慮した受入サービスについてもあわせて検討する。
- ② 地域固有の文化、自然その他の特性とサイクルツーリズムを融合させた体験型コンテンツの実施について検討する。
- ③ 鉄道事業者やバス事業者に対して、サイクルトレインやサイクルバスの導入を要請することにより、サイクルリストの受け入れ環境の充実を図る。



松山空港ターミナルビル 1 階に、お遍路さん・サイクリストをおもてなしする「休憩コーナー」「着替えコーナー」「自転車組立スペース」を設置
【出典：松山空港 HP】

施策3 サイクルツーリズムに関する情報発信

ホームページ、SNS 及びパンフレット等の情報媒体の作成と観光案内所や鉄道駅、道の駅の交通拠点及び宿泊施設などでの情報提供。

3. 男鹿市自転車活用推進計画において実施する施策

3-3 自転車利用の安全対策の推進

施策4 交通安全意識向上のための広報啓発

① 交通安全意識向上を図る広報啓発

自転車の安全利用について、地域住民の交通安全意識の向上を図るため、全国交通安全運動等様々な機会を利用して、街頭での声掛け、ポスター貼付等、広報啓発に努める。

② 学校における交通安全教室の開催

小学校、中学校、高等学校等の学校において、発達段階に応じた交通安全教育が実施されるよう、交通安全教育が実施されるよう、交通安全教室等を着実に開催し、交通安全の意識を推進していく。



全国交通安全運動のポスター
【出典:内閣府】



シミュレーターを活用した自転車教室
【出典:警察庁】

施策5 子供が安全に利用できる環境整備

定期的に道路管理者、教育委員会、警察等による、自転車利用の視点も踏まえた通学路等の合同点検を行い、交通安全の確保に必要な対策を講じる。



3. 男鹿市自転車活用推進計画において実施する施策

3-4 安全で円滑な自転車通行空間の整備促進

施策6 自転車ネットワーク計画の策定

安全で快適に自転車を活用できるよう、歩行者、自転車及び自動車が適切に分離された自転車走行環境を効率的・効果的に整備していくため、地域自転車ネットワークを構築する。



出典：地方版自転車活用推進計画の手引き（案）

施策7 自転車の通行位置の分離に関する路面標示等の整備

歩行者、自転車、自動車の通行位置が分離された安全な道路空間を実現するため、自転車の通行位置などが分かりやすい路面標示などの整備を推進する。



自転車専用通行帯



車道混在



案内標識

3. 男鹿市自転車活用推進計画において実施する施策

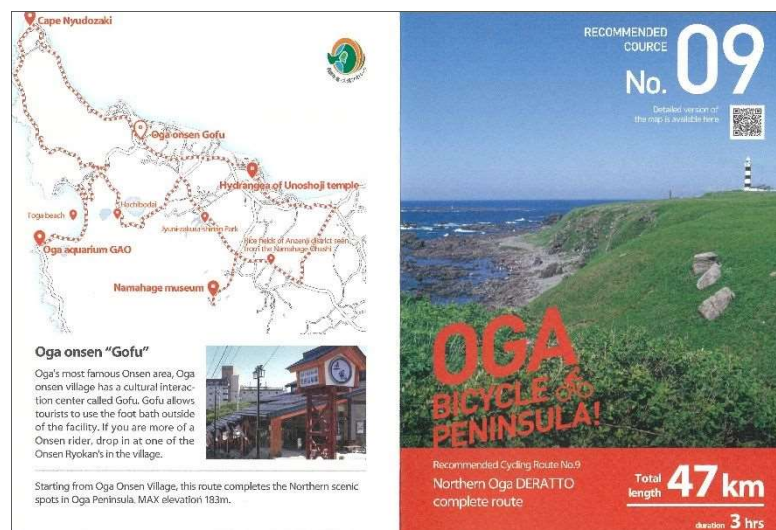
施策8 自転車のマップの作成

自転車利用者の利便性向上を図るため、既存のサイクリングコースマップを活用しながら、自転車通行空間やサイクルポートの設置、放置自転車禁止区域、駐輪場の位置等示したマップを作成する。

また、英語、韓国語などの多言語版マップについても検討する。



(中国語版)



(英語版)

多言語版サイクリングコースマップ

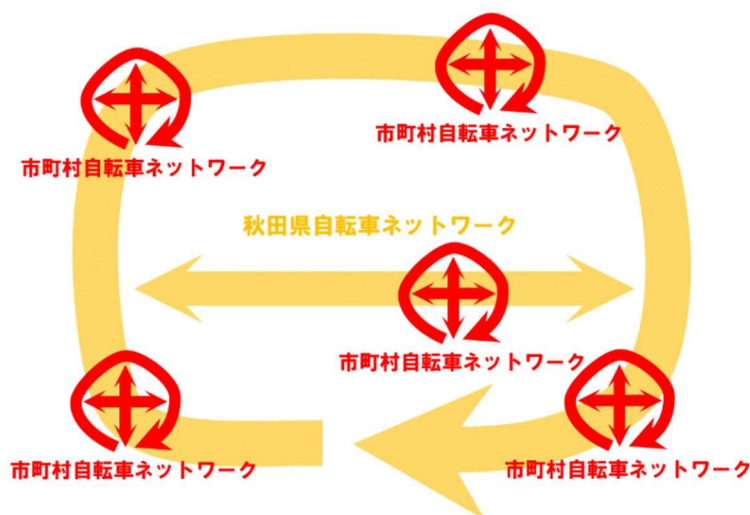
4. 男鹿市自転車ネットワーク計画

4-1 自転車ネットワーク計画策定の目的

市町村は「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」（平成28年改訂）に基づいた「自転車ネットワーク計画」の策定が求められており、市町村自転車活用推進計画の中に位置付けることが望ましいとされている。

秋田県自転車ネットワーク計画は、県全体を対象として県内各地域をつなぐ広域的な路線で形成されており、男鹿市自転車ネットワーク計画では、主に市内での観光利用等に資する路線を位置付けするものとする。

安全で快適に自転車を活用できるように、歩行者、自転車及び自動車が適切に分離された自転車走行環境を効率的・効果的に整備していくため、自転車が走行しやすい路線で形成された自転車ネットワークを構築する。



ネットワークのイメージ図

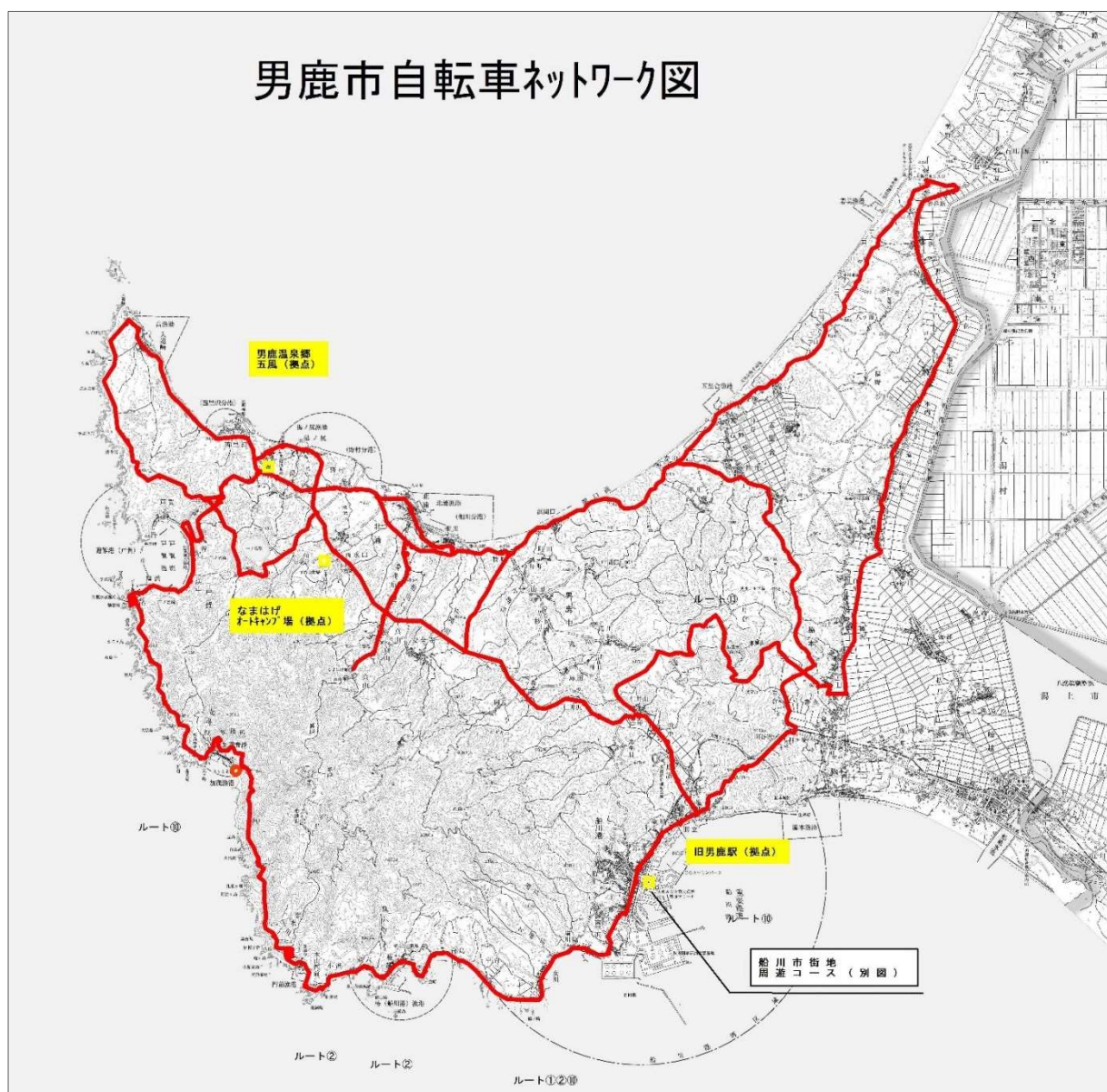
4-2 ネットワークの設定方法

県のネットワーク計画を基本に、既存の市内サイクリングルートを最大限活用するとともに、市道路線を含む新たなサイクリングルートも検討しながら、男鹿市自転車ネットワークを構築する。

また、上位計画（都市マスタープラン、都市計画）や関連計画（道路整備計画）等との整合を図りながら計画を策定する。

4. 自転車ネットワーク計画

4-3 男鹿市自転車ネットワーク図



男鹿市自転車ネットワーク図

4. 自転車ネットワーク計画

4-4 サイクリングルート

旧男鹿駅を起点とするルート

		距離(往復)	所要時間
ルート①	旧男鹿駅～鶺ノ崎海岸	約 10km	40 分
ルート②	旧男鹿駅～鶺ノ崎海岸～館山崎グリーンタフ～ゴジラ岩 ～門前なまはげ立像	約 25km	100 分
ルート③	旧男鹿駅～安全寺地区の田園風景～なまはげ館・男鹿真山 伝承館・真山神社	約 30km	180 分
ルート④	旧男鹿駅～安全寺地区の田園風景～男鹿温泉郷・男鹿温泉 交流会館五風	約 38km	180 分
ルート⑤	旧男鹿駅～安全寺地区の田園風景～男鹿温泉郷・男鹿温泉 交流会館五風～入道崎	約 47km	210 分

男鹿温泉交流会館五風を起点とするルート

		距離(往復)	所要時間
ルート⑥	男鹿温泉 交流会館五風～八望台～入道崎～西黒沢～男鹿 温泉 交流会館五風	約 20km	80 分
ルート⑦	男鹿温泉 交流会館五風～雲昌寺～なまはげ館・男鹿真山 伝承館・真山神社～十二桜公園～男鹿温泉 交流会館五風	約 18km	70 分
ルート⑧	五風～男鹿水族館 GAO	約 15km	60 分
ルート⑨	男鹿温泉 交流会館五風～雲昌寺～安全寺地区の田園風景 ～なまはげ館・男鹿真山伝承館・真山神社～十二桜公園～八 望台～男鹿水族館 GAO～入道崎～西黒沢～男鹿温泉 交 流会館五風	約 47km	180 分
ルート⑩	男鹿温泉 交流会館五風～入道崎～男鹿水族館 GAO～カン カネ洞～門前なまはげ立像～鶺ノ崎海岸～オガーレ～安全 寺地区の田園風景～男鹿温泉 交流会館五風	約 61km	240 分

4. 自転車ネットワーク計画

船川市街地を周遊するルート

ルート⑪	船川市街地（オガーレ、OGA マリーナ、OGA マリンパーク、大龍寺）
------	-------------------------------------

なまはげオートキャンプ場を起点とするルート

（男鹿なまはげライド）

		距離(往復)	所要時間
ルート⑫	なまはげオートキャンプ場～安全寺地区の田園風景～安田海岸 ～滝の頭～OGA マリンパーク～オガーレ～鶴ノ崎海岸～館山崎 グリーンタフ～ゴジラ岩～門前なまはげ立像～男鹿水族館 GAO～入道崎～西黒沢～なまはげオートキャンプ場	約 62km	
ルート⑬	なまはげオートキャンプ場～安全寺地区の田園風景～安田海岸 ～宮沢海岸オートキャンプ場・夕陽温泉 WAO～寒風山～鶴ノ崎海 岸～館山崎グリーンタフ～ゴジラ岩～門前なまはげ立像～男 鹿水族館 GAO～入道崎～西黒沢～なまはげオートキャンプ場	約 109km	

5. 自転車走行環境の整備方針

5-1 自転車ネットワーク計画に選定した路線の整備の方向性

「自転車ネットワーク計画」に選定された路線は、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に基づき自転車走行環境の整備を図る。

その際、交通量等を勘案して、自転車道、自転車通行帯、車道混在それぞれの形態で適切に整備を図るものとし、整備が当面困難な場合には、暫定形態として車道混在での整備を進めるものとする。

5-2 路面表示整備予定路線 (R5~R9)

路面表示整備予定路線 (5 ヵ年)

参考

サイクリングコース名	市道名	整備延長 (m)	R5	R6	R7	R8	R9	備考
船川市街地周遊コース	栄町・元浜町線	63			●			
	泉台4号線	52				●		
	姫ヶ沢元浜町線	646				●	●	
	元浜町・化世沢線	983			●	●	●	
	船川・片田線	112					●	
	船川3号線	46					●	
	元浜町・新浜町	158		●				
	化世沢・外ヶ沢線	456		●	●			
	新浜町・外ヶ沢線	440	●	●				
	臨港道路	1,590						

6. 計画の推進体制

6-1 計画の推進体制

本計画を推進するため、様々なニーズを踏まえ、国や県、関係団体等と連携・協力を図りながら、継続的な推進に取り組む。

6-2 計画の見直しについて

本計画の実施状況や、社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて、本計画の見直しを行う。また国の推進計画において改定等がなされた場合には、改定内容との当該計画の記載内容との整合性を確認した上で、必要に応じて取組等を再設定します。

7. 参考資料

7-1 サイクリングルート図

ルート①



うのさきかいがん

鵜ノ崎海岸

「日本の渚百選」にも登録されている鵜ノ崎海岸。干潮時に海底の岩肌が露出するくらいの浅瀬が200mほど続く海岸で、鏡の様な水面に反射した風景が美しく「秋田のウユニ塩湖」とも呼ばれるSNSなどでも人気のスポットです。



男鹿駅から約1～1.5km地点の上り坂をのぞいて、ほぼ平坦な道のりとなっており、鵜ノ崎海岸に着くまでも海岸線に沿ったコースが楽しめます。サイクリング初心者の方にもおすすめ！

7. 参考資料

ルート②



もんぜん

門前のなまはげ立像

赤神神社五社堂の九九九段の石段にちなんで、高さ9.99mの立像で、日本海に向かって手をかざし睨みをきかせる姿は男鹿・門前地区のシンボルとして君臨しています。

海岸線沿いの道中には、鶴ノ崎海岸やゴジラ岩(道路からは見えません)などのみどころも。また、なまはげ立像のある駐車場から「鬼が築き上げたといわれる九九九の石段」をのぼった先には男鹿南岸屈指のパワースポット赤神神社五社堂があります(徒歩約20分)。



ゴジラ岩



赤神神社五社堂

7. 参考資料

ルート③



なまはげ館

男鹿の象徴ともいえるべき「ナマハゲ」に関する貴重な資料が展示されています。150を超える男鹿各地区のナマハゲ面勢ぞろいコーナーは圧巻の迫力。また隣接の男鹿真山伝承館では、真山地区のナマハゲの実演を間近で体験できます。



男鹿のちょうど真ん中あたりを南東から北西に進む「なまはげライン」適度な勾配もあり、e-bikeの性能を本領発揮できるルートともいえます。

7. 参考資料

ルート④



おがおんせんこうりゅうかいかん ごふう

男鹿温泉交流会館五風

男鹿を代表する宿泊拠点「男鹿温泉郷」の中心に位置する五風では足湯を楽しむことができます。ライドで疲れた体を男鹿温泉の効き湯でリフレッシュ！各宿で日帰り入浴もできますので、どっぷり温泉に浸かっての休憩もおすすめ！（利用時間・料金等は各宿にご確認ください）



男鹿半島の南側から北側までを斜めに縦断するセミロングライド。なまはげライン上「なまはげ大橋」から望む安全寺地区の棚田の風景も人気ビュースポット。やや高低差があるルートなのでe-bikeがおすすめ！

7. 参考資料

ルート⑤



にゅうどうざき

入道崎

男鹿半島の西北端に位置する入道崎は、夕陽のみどころとして毎年多くのお客様が訪れる男鹿を代表する景勝地です。また、入道崎灯台は、国内三千基超の中でわずか16か所しかない登れる灯台。灯台資料展示室も併設され灯台の歴史と知識を見学することができます。



男鹿半島最西端までのロングライド。男鹿のほぼ中央を南東から北西にのびる「なまはげライン」は高低差もあり、乗りごたえのあるルートとなっています。途中、男鹿温泉郷に寄って足湯で休憩もおすすめ！

7. 参考資料

ルート⑥



はちぼうだい

八望台

県道121号線沿いに位置し、戸賀湾・一ノ目潟・二ノ目潟さらには奥羽山脈・青森県境までもを眼下に眺望できる景勝地。男鹿半島でも有数の夕陽のみどころ。八方の雄大な眺望を楽しむことから、故高松宮殿下が八望台と命名されました。



男鹿温泉郷から、最大標高差約180mのやや急なのぼりで高台にある八望台へ。見晴らしを楽しんだ後は、ほぼくだり～フラットの海岸線ルートで男鹿を代表する景勝地入道崎を目指します。最大標高差182m

7. 参考資料

ルート⑦



うんしょうじ

雲昌寺のアジサイ

死ぬまでに行きたい!世界の絶景「日本の絶景編2017 ベスト絶景」にも選ばれた、男鹿の新たな見どころ。副住職さんが15年以上かけて育てたアジサイは、独自の育成方法によって一株につく花の数が多く、満開の頃には一面が青色に染まります。例年6月中頃から7月上旬にかけてが見ごろ。

男鹿温泉郷を起点に、雲昌寺のアジサイと真山地区を巡る手軽なコース。
最大標高差162m

7. 参考資料

ルート⑧



男鹿水族館GAO

男鹿の海大水槽では、40種2千匹の魚が泳ぎまわります。秋田県魚ハタハタを通年展示している唯一の水族館。ホッキョクグマ豪太をはじめ人気者も多数!!



男鹿温泉郷を起点に、GAOへさふらっと行くコース。最大標高差97m

7. 参考資料

ルート⑨



おがおんせんこうりゅうかいかん ごふう

男鹿温泉交流会館五風

男鹿を代表する宿泊拠点「男鹿温泉郷」の中心に位置する五風では足湯を楽しむことができます。ライドで疲れた体を男鹿温泉の効き湯でリフレッシュ！各宿で日帰り入浴もできますので、どっぷり温泉に浸かっての休憩もおすすめ！（利用時間・料金等は各宿にご確認ください）



男鹿温泉郷を起点に、北部地域の観光スポットを堪能するコース。
最大標高差183m

7. 参考資料



カンカネ洞

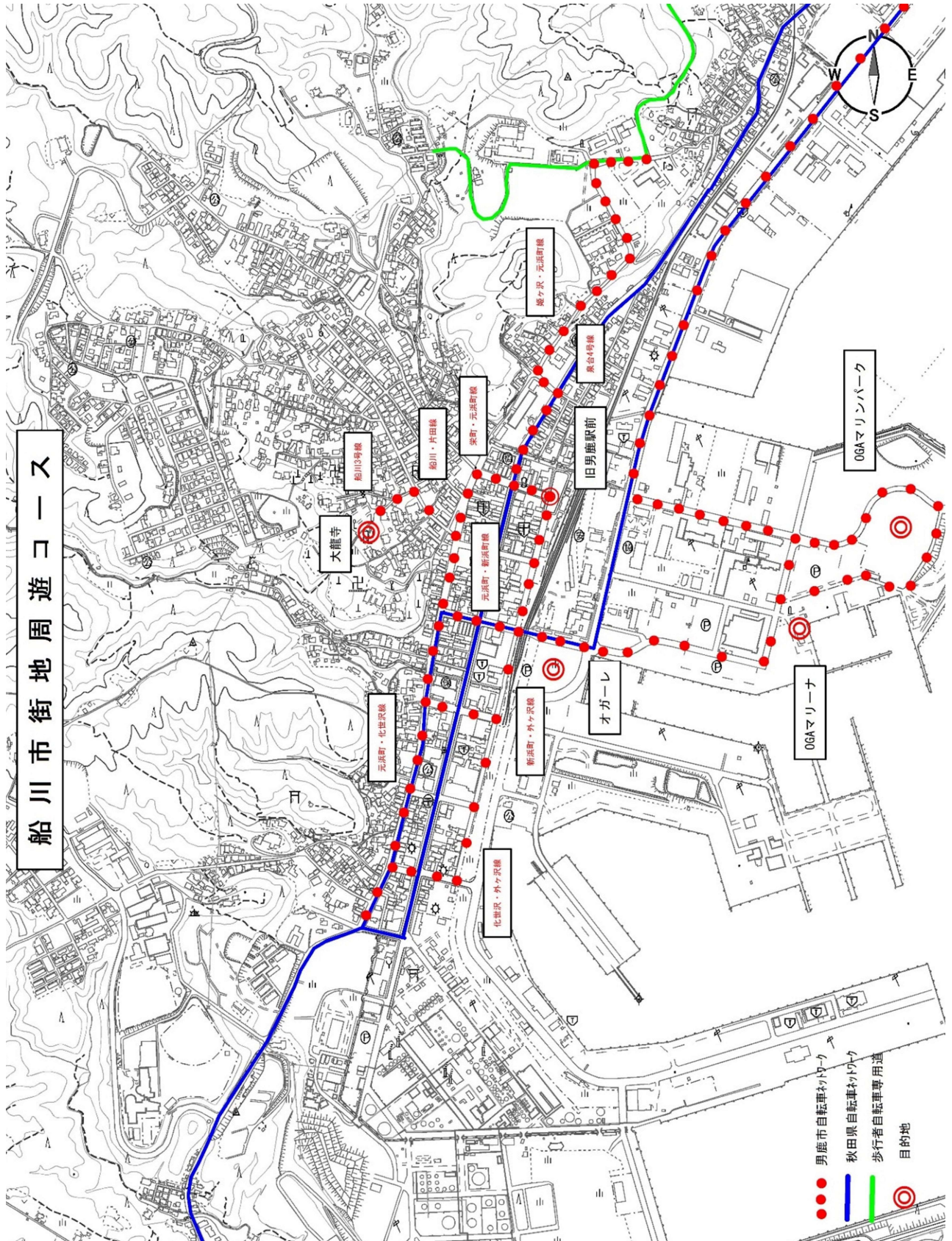
波の浸食により形成された男鹿半島最大級の洞窟。その昔海岸沿いの街道を通るためにはこの洞窟が大きな難所となっており、洞窟の外壁にカギを架けて渡ったことから、カギカケが転じてカンカネ洞と呼ばれるようになったといわれています。駐車場から徒歩で見学可。



男鹿駅を起点に、絶景の西海岸を堪能する男鹿半島ゴールデンコース。最大標高差205m

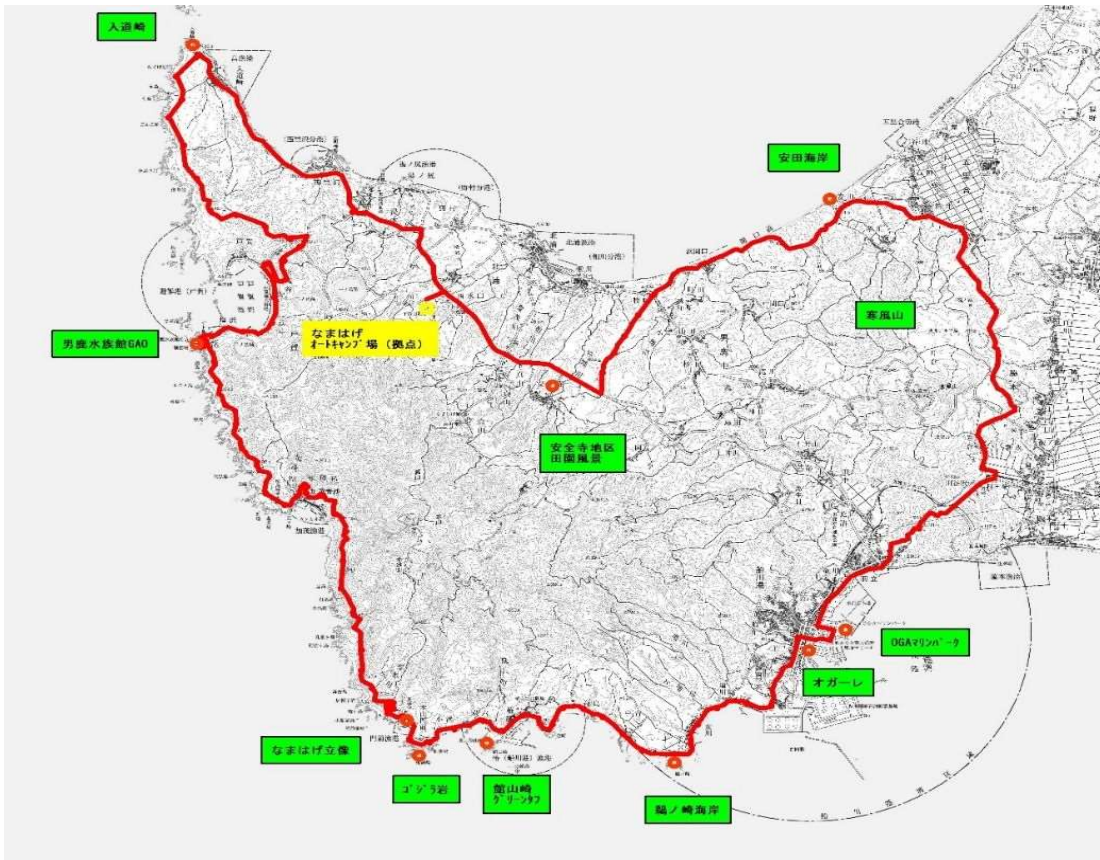
7. 参考資料

ルート⑪



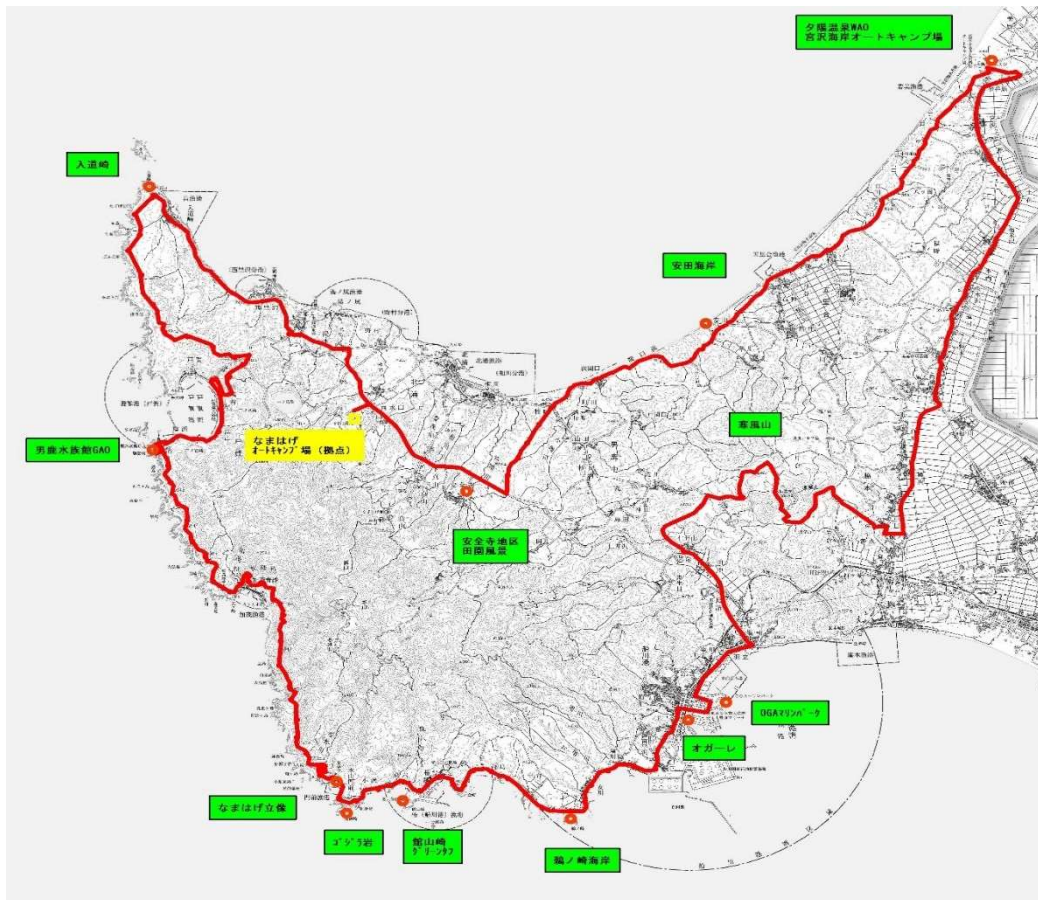
7. 参考資料

ルート⑫



7. 参考資料

ルート⑬



令和5年3月発行

男鹿市自転車活用推進計画

編集・発行 男鹿市産業建設部建設課
〒010-0595 男鹿市船川港船川字泉台 66-1
TEL 0185-24-9145
FAX 0185-23-2424
E-mail kensetsu@city.oga.akita.jp